

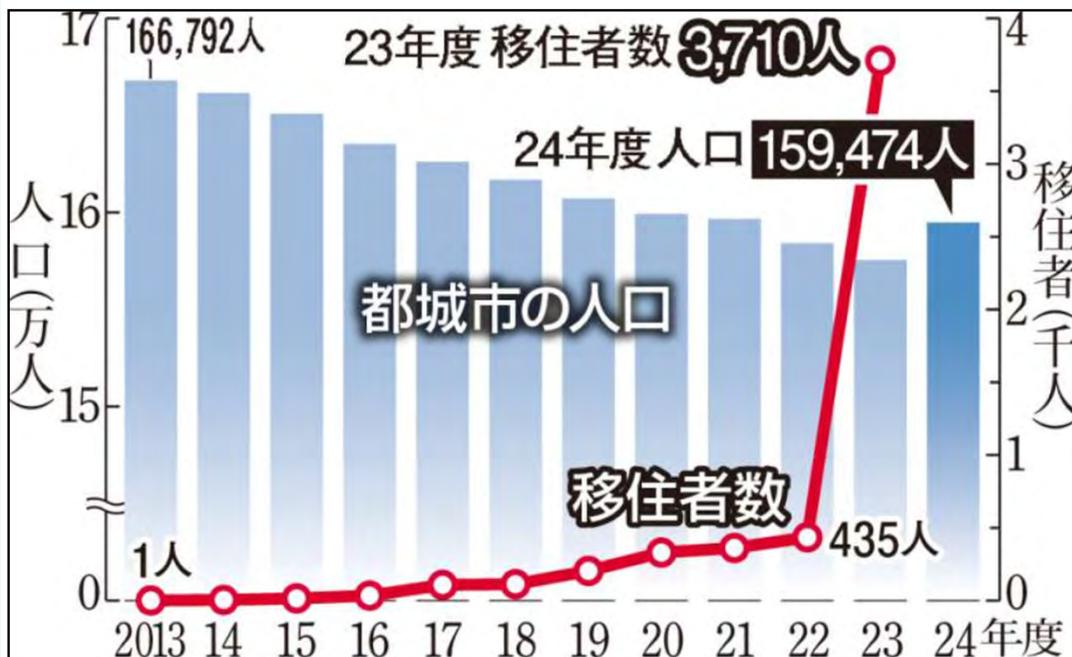
令和7年度キャリア教育推進連携シンポジウム 事例発表

令和8年1月19日(月)
宮崎県立都城商業高等学校
教諭 北郷 晶子

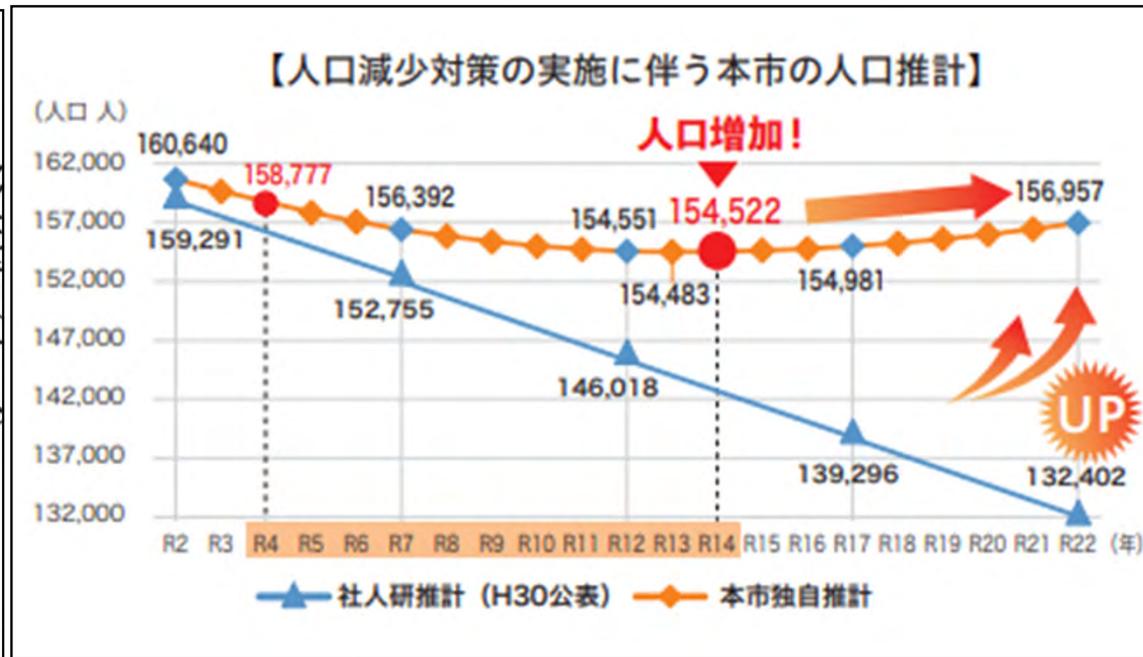
宮崎県 都城市



都城市の特徴



南日本新聞令和4年4月26日



広報都城 令和5年7月号

市の積極的な移住支援策→移住者急増

移住者の約8割が子育て世帯・・・「市内居住5年以上」が条件※現在は「市内居住10年以上」

「高校魅力化」の重要性



宮崎県立都城商業高等学校

創立121年の伝統校

情報ソリューション科／商業マネジメント科

自信と誇り、高い志を持つ自立した経済人の育成





都城商業高等学校の「総合的な探究の時間」

その生徒「ならでは」の課題設定

生徒一人ひとりが自己のあり方や生き方を深く考え、社会と関わる中で自身の役割と貢献を主体的に探究する。
好き 得意 知りたい やってみたい 挑戦したい よりよくしたい …等

キャリア教育の視点を持った「総合的な探究の時間」

高校三年間だけではなく、高校卒業後も関わっていきたいと思えるような課題に気づかせる／出会わせるしかけづくり



都城商業高等学校の「総合的な探究の時間」

1年次

自己理解・自己分析
ミニ探究

2年次

マイテーマ探究

3年次

課題研究

【探究活動指導の際の教員の4つのロール】

ティーチャー・インストラクター

学びの見通しを立てる支援
教員の経験や知識による支援

ファシリテーター・コーディネーター

気づきを促し、思考を深める支援
外部リソースとの接続による支援
リフレクション・意味づけの支援

ジェネレーター

創造性を誘発させる支援



メンター

勇気づけ・応援
個の状況に応じたサポート

【探究活動指導の際の教員の4つのロール】

ティーチャー・インストラクター

学びの見通しを立てる支援
教員の経験や知識による支援

ファシリテーター・コーディネーター

気づきを促し、思考を深める支援
外部リソースとの接続による支援
振り返り・意味づけの支援

ジェネレーター

創造性を誘発させる支援



メンター

勇気づけ・応援
個の状況に応じたサポート

取組の内側に入り、ともに活動する

生成的な参加者。

創造のために、時には自ら手を動かし、汗をかく。

『ジェネレーター 学びと活動の生成』 学事出版
市川力(著), 井庭崇(著)



二つの地域共創プロジェクト

共創ウェルビーイング部・・・「のくにラボ」をまちなかに創設。
世代を超えたキャリアを育む

課題研究「紙漉き文化再生プロジェクト」・・・持続可能な環境教育



二つのプロジェクトを通して連携した企業人や有識者が
全校生徒対象の探究活動や対話型ワークショップに参加。
全生徒たちのキャリア形成を支援。

二つの地域共創プロジェクト

▶ **共創ウェルビーイング部**・・・「のくにラボ」をまちなかに創設。
世代を超えたキャリアを育む

課題研究「紙漉き文化再生プロジェクト」・・・持続可能な環境教育



二つのプロジェクトを通して連携した企業人や有識者が
全校生徒対象の探究活動や対話型ワークショップに参加。
全生徒たちのキャリア形成を支援。

宮崎県立都城商業高等学校

共創ウェルビーイング部のくにプロジェクト



11
のくにラボ

「共創」

=単に「ともにつくる」ということではなく、
さまざまな人たちのあらゆるものの見方・考え方を
融合させて、新しい価値を創り出す

「ウェルビーイング」

=個人や社会のよい状態。
健康と同じように日常生活の一要素であり、社会的、
経済的、環境的な状況によって決定される。

WHO(世界保健機構)



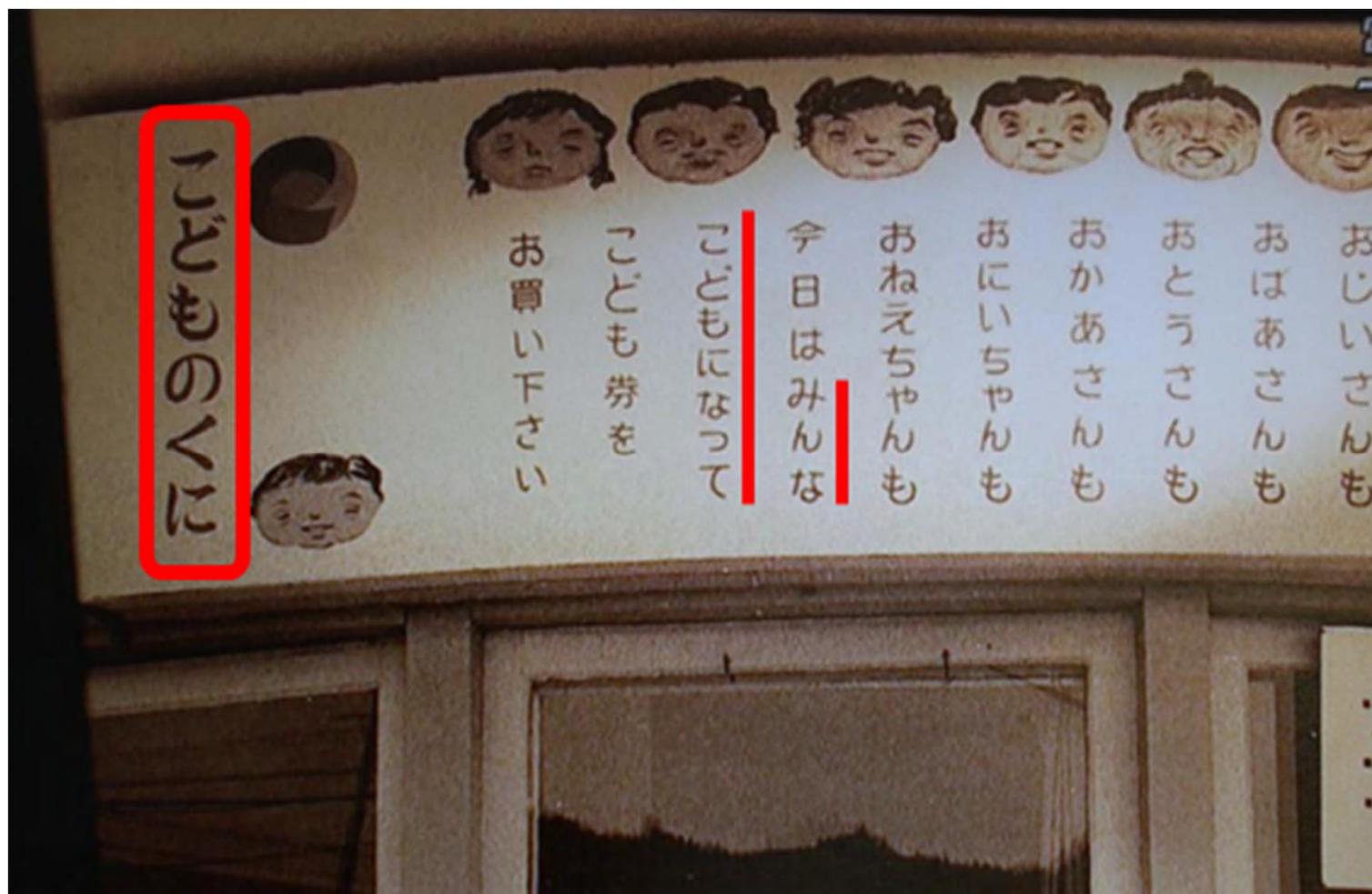
「わたし」だけではなく、「わたしたち」によって創られるのもの。

自分ひとりだけが「良好な状態」になるのではなく、
他者や社会、自然、他のいきものまでもっと広げる
→はじめて本当の「ウェルビーイング」になる！

『ウェルビーイングのつくりかた
「わたし」と「わたしたち」をつなぐデザインガイド』
渡邊淳司、ドミニク・チェン BNN



「のくにプロジェクト」の由来



こどもだけではなく

みんな が対象

「(こども)のくに」 プロジェクト



のくにプロジェクト



のくにラボ



「やってみたい」を拓ける場所、のくにラボ

これまでの主な活動

「こんなの、どう？都城」 summit

→都城の未来について、多世代で対話をする企画



令和3年3月21日、同年7月21日、同年10月31日に実施

都城市立図書館との連携イベント



「積みコップであそぼう」



「ボードゲームであそぼう」



「まどにシルクスクリーンしよう！」

エシカルスイーツレッスン



地域でお菓子教室を開いている講師を招き、青年会議所からの協賛金で実施

チャリティー屋台



能登半島沖地震、台湾大地震の直後に実施。売上げ金はすべて寄付。

富崎県立都城商業高等学校
共創ウェルビーイング部
「のくにプロジェクト」

大きなかべにみんなで おえかきしよう

and ふるまい都城茶

12/23(土)

10:00~14:00

旧ヤママン呉服店内

〒885-0072 宮崎県都城市上町9-27

取り壊し前のお店の大きな壁に
みんなでお絵かきしよう！

対象：こども～大人まで、どなたでも。
服装、持ち物：汚れてもいい服装、軍手やビニール手袋等

〈協賛〉
原口商事 大石製茶

〔詳細はこちら〕

〈協力〉
池田浩二
都城市地域プロジェクトマネージャー
杉本恭佑
(合同会社ヤッチャ)

都城市立図書館



お問い合わせは
インスタグラムDMまたは

写真提供 IDoPLACO

参加費無料
都城茶もフリー♪



取り壊しが決まった 旧呉服店の壁に
まちのみんなとお絵かき



一人ひとりの
「ウェルビーイング」が交わり、
重なり合って、
「わたしたち」の
「ウェルビーイング」な空間に。



世代を超えて、ゆるやかにつながり、それぞれの「ウェルビーイング」が重なり合う
→地域の「ウェルビーイング」

高校生といっしょに「だがしやさん」になっちゃおう！

だがしのくに

in まちなかひろば 広場

宮崎県立都城商業高等学校 共創ウェルビーイング部 のくにプロジェクト

日時 2025年4月26日(土) 10:00~15:00 (予定)

会場 Mallmall まちなかひろば

対象 2さい~12さい

だがしやさんになる方法

- ①【事前】左下のQRコードより申し込み
- ②申し込み時刻の5分前にだがしやさんに集合！
- ③商業高校生と5分間接客の練習
- ④だがしやさんデビュー！
- ⑤約20分間だがしやさんになれるよ！

だがしやさんになってくれたおともだちは、くじびきができます

お申し込みはこちらから



【主催】宮崎県立都城商業高等学校 共創ウェルビーイング部のくにプロジェクト
 【協力】都城市地域プロジェクトマネージャー 池田浩二 株式会社 丸商
 【お問い合わせ先】0986-22-1758 (都城商業/担当:北郷) ikedak25@gmail.com (都城市地域PM 池田)



@NOKUNI_LAB

くじびき景品イメージ (イメージとは異なる場合があります)



小さな子どもたちと高校生がまちなか広場で駄菓子を販売

のくにラボ

宮崎県立都城商業高等学校 共創ウェルビーイング部 のくにプロジェクト
in 山野原

会場 山野原自治公民館

日時 2024年7月15日 (月・祝) 10:00~14:30
(途中休憩12:30~13:30)

※雨天決行

対象 どなたでも

プログラム 《10:00-10:30》オープニング
じゃんけん列車

予定は変更になることがあります

《10:30-12:30》eスポーツ大会

—12:30-13:30 休憩—

《13:30-14:30》紙コップゲーム
クロージング

出入り自由
景品もあるよ
みんなで来て

持ち物等 水筒、動きやすい服装



※画像はすべてイメージです



@NOKUNI_LAB

【主催】 山野原自治公民館
宮崎県立都城商業高等学校 共創ウェルビーイング部

このしるしをみんなかにして

山野原自治公民館で

eスポーツ／ゲーム大会



ぼうさい
防災

だがしのくにセレクション

さんやばるこうみんかん
in山野原公民館

宮崎県立都城商業高等学校 共創ウェルビーイング部 のくにプロジェクト

日時 2025年7月13日(日) 10:30~11:30 (予定)

会場 山野原公民館

対象 「防災レクレーション」に参加される方
【館報7月号に記載されているQRコードよりお申し込みください】

駄菓子コンシェルジュの
高校生たちと一しょに
駄菓子を選んで
「だがし防災ポーチ」をつくらう！
※無料です
非常食の無料配布もあります！



【主催】宮崎県立都城商業高等学校 共創ウェルビーイング部
のくにプロジェクト
【お問い合わせ先】0986-22-1758 (都城商部/担当: 北郷)



この企画を企画した @NOKUNI_LAB
「まのゆるやかなつなげよう」

防災だがしのくにセレクション

カードに書かれたお題に従って、
自分が食べたい駄菓子を、
防災ポーチにつめる



こども家庭庁ホームページ掲載、訪問してプレゼン・ディスカッション

【のくにプロジェクト】 宮崎県立都城商業高等学校 共創ウェルビーイング部

掲載日：2023年12月15日
実施地域：宮崎県都城町



のくにラボ

■取組概要
ファーストプレイス（家）でも、セカンドプレイス（学校等）でも、サードプレイスでもない、地域のこどもたちの「ナンバーレスな居場所づくり」をしています。安堵感がなくて朝光大団だつた時に多くの人でにぎわった「宮崎こどものくに」から着想を得て、プロジェクト名を「のくに」としました。地域の大人や大学生を巻き込んだ高校生主催の別館会を開き、企画を立案しています。また、経済陸定から年給「住居陸定」の定評のために、地域の多業種や行政からの支援を受け、こどもたちの参加員は無料にしています。こどももおとなもみんなが「のくに」では同じフィールドで楽しめる、そんな居場所のよい場づくりを今後もしていきたいです。



<https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo-mannaka/case/wakamono/#miyakonojo-shogyo>

有識者を招いて、多世代で 「コミュニティ」について考えるワークショップを実施

わたしたちの「ウェルビーイング」、
みーつけた！

のくにラボ

宮崎県立都城商業高等学校 共創ウェルビーイング部 のくにプロジェクト

日時 2024年7月14日（日）14:30～16:30

場所 都城市立図書館 ホール

対象 どなたでも（小さなお子様連れも大歓迎です）

タイムスケジュール

14:20～14:30 受付（連絡会場にお越し下さい）

14:30～15:30 《第一部》のくにチームトークセッション

テーマ 「まちのウェルビーイングな展開ってどんな展開？」
取り組みの紹介 宮崎県立都城商業高等学校 共創ウェルビーイング部のくにプロジェクト

ゲストコメンテーター 子ども家庭庁 広報推進官 安藤 温子
(柳川副) 子ども家庭庁 長官官房 総合政策担当 福士 悦子

NTTコミュニケーション科学基礎研究所
上席特別研究員 渡邊 淳司

都城市立図書館 館長 井上 肇志

ファシリテーター 宮崎県立都城商業高等学校 教諭 北郷 晶子
グラフィックレコーディング 渡山 英哉

15:50～16:30 《第二部》「あなたにとって大事なものはなに？」
「わたしたちのウェルビーイングカード（NTT出版 2024.02.16版）」
を用いたワークショップ
講師：NTTコミュニケーション科学基礎研究所 上席特別研究員 渡邊 淳司

共 催 宮崎県立都城商業高等学校 共創ウェルビーイング部のくにプロジェクト
都城市立図書館
後 援 宮崎県広報プロモーションセンター 情報活こ

お問い合わせ
0960-22-1175
〒960-0001 宮崎県都城市

QRコード

BNOKUNI.LA




令和6年7月14日「わたしたちのウェルビーイングみーつけた！」
を都城市立図書館で実施。
ゲストコメンテーター NTTコミュニケーション科学基礎研究所
上席特別研究員 渡邊淳司氏
子ども家庭庁 広報推進官 安藤温子氏 同総合政策担当 福士悦子氏

令和7年

活動拠点を千日通りに設置

リノベーションは都城高専の学生さんたちと！

地域の新しいコミュニティ

みんなで のくにラボ

をつくっちゃおう！

第1弾 「のくにラボ」の外壁を塗ろう
(千日通りおめかしプロジェクト)

日時 2025年1月26日(日)
10:00~13:00※予定

場所 城西ビル1階(都城市上町5-1
合同庁舎のすぐ近く)

対象 どなたでも！参加費無料
事前申し込みはありません

その他
汚れてもいい服装でお越しください
塗装に必要なものはすべて準備します

主催 宮崎県立都城高等専門学校 共創フェルビーイング形のくにプロジェクト
都城地域プロジェクトマネージャー 池田 浩二

協力 『まちのゆるやかなつながりづくり』を
企画・開催している高校生プロジェクトチームです。
千日通りに地域の新しいコミュニティを近日中にオープン！

お問い合わせ先 都城高専(担当:北郷)0986-22-1758
都城地域PM(池田)ikedak25@gmail.com

QRコード: @NOKUNI_LAB

地域の新しいコミュニティ

みんなで のくにラボ

をつくっちゃおう！

第2弾 室内の壁を塗って、床を張ろう
のくにプロジェクト×都城高専コラボレーション

日時 2025年6月22日(日)
10:00~13:00※予定
(関係者は9:00から準備)

場所 千日通り 城西ビル1階
(都城市上町5-1)
合同庁舎のすぐ近く

対象 どなたでも！参加費無料
事前申し込みはありません

その他
汚れてもいい服装でお越しください
塗装等に必要なのは準備します

主催 宮崎県立都城高等専門学校 共創フェルビーイング形のくにプロジェクト
都城地域プロジェクトマネージャー 池田 浩二

協力 都城工業高等専門学校 建築学科 杉本研究室

『まちのゆるやかなつながりづくり』を
企画・開催している高校生プロジェクトチームです。
地域の新しいコミュニティスペースを近日中に開設予定。

お問い合わせ先 都城高専(担当:北郷)0986-22-1758

QRコード: @NOKUNI_LAB



自分たちの手で創り出した「のくにラボ」



第3輪創設時記事

都城商高 (共創ウェルビーイング部) × 都城高専

空き店舗活用 交流の場創出

市民らの交流拠点の場としてビルの空き店舗をリノベーションした都城商業高共創ウェルビーイング部のメンバー

同部は「のくにプロジェクト」として、子育て都市

民の居場所づくりのための活動をすすめる中で、地域に「ゆるやかにつながる場」の拠点が必要と考えた。市地域プロジェクトマネ

中心市街地、25日イベント

「シャワー池田浩」さんの協力を受けて、同市上町の千日通りの沿いの城西ビル(3階)のうち、20年以上未使用だった1階の2部屋の改装を計画。まちづくりの関心を持つ、同高専建築学科・杉本弘文准教授の教え子も二役買った。

ワークショップやイベントを開く「コミュニケーションスペース」部の作業も商品開発をする「まちの実験室」を延べ5日間で整備

部員たちが室内を清掃して壁のクロスをはがし、見栄え良くするためにビルの外壁を白く塗った。高専生たちは専門技術を生かして同スペースにフロリングの木板を張り、室内を塗装、木製棚や机も手作りで。空間を広々と感じる明るいスペースに仕上がった。

同部が水、金曜日に商品開発やミーティングの場として利用し、週末を中心にイベントを行う。永田部長(17)「3年間は」多世代が交流し、心よりどころとなるコミュニケーションの場につなげてほしい」と願う。一般利用でにぎわい演出につながるイベントもできる。

★「フレミヤ」にも掲載 (三輪誠)

交流拠点の場づくりを協力した都城高専生ら

宮崎日日新聞 令和7年7月7日掲載



令和7年7月25日

「のくにラボ」オープン



見通しを立て、振り返る→ポートフォリオ化

ウェルビーイング・コンピテンシー ホワイトペーパー NTT-KIT 実践事例増補版

日本電信電話株式会社 (NTT)
社会情報研究所 Well-being研究プロジェクト
金沢工業大学 (KIT)
教職課程 平 真由子



WHITE PAPER OF "WELL-BEING COMPETENCY" (NTT-KIT)

		態度	知識	技能
I-1	自己の探求・理解	自分のことに興味がある	自分の価値観や特徴を理解している	自分の価値観や特徴を説明することができる
I-2	自己の受容・尊重	自分の存在を大切にしたいと思っている	自分の価値観や特徴を尊重する意義を理解している	自分の価値観や特徴を尊重することができる
I-3	自己の調整	自分のウェルビーイングを、自分で大切にしたいと思う	自分のウェルビーイングを実現するためにすべきことを理解している	自分のウェルビーイングを実現するためにすべきことを自ら実行できる
W-1	相手の理解	相手のことに興味がある	相手の価値観や特徴を理解している	相手の価値観や特徴を説明することができる
W-2	相手の受容・尊重	相手の存在を大切にしたいと思っている	相手の価値観や特徴を、自分との関わりの中で尊重する意義を理解している	相手の価値観や特徴を、自分との関わりの中で尊重することができる
W-3	相手との関係調整	自分と相手のウェルビーイングを大切にしたいと思う	自分と相手のウェルビーイングを、共に実現するためにすべきことを理解している	自分と相手のウェルビーイングを、共に実現するためにすべきことを自ら実行できる
S-1	社会集団の理解	自分の所属する社会集団とそのメンバーの両方に興味がある	自分の所属する社会集団とそのメンバーの両方の価値観や特徴を理解している	自分の所属する社会集団とそのメンバーの両方の価値観や特徴を説明することができる
S-2	社会集団の受容・尊重	自分の所属する社会集団とそのメンバーの両方の存在を大切にしたいと思っている	自分の所属する社会集団とそのメンバーの両方の存在を、自分との関わりの中で尊重する意義を理解している	自分の所属する社会集団とそのメンバーの両方の存在を、自分との関わりの中で尊重することができる
S-3	社会集団における関係調整	自他のウェルビーイングを尊重しながら、自分の所属する社会集団のために、自らの役割を発生し、行うことに興味がある	自他のウェルビーイングを尊重しながら、自分の所属する社会集団で、自分が行うべき役割を理解している	自他のウェルビーイングを尊重しながら、自分の所属する社会集団で、自分の役割を協働的に果たすことができる
G	地球人的視点の取持と持続可能な未来に向けた行動	地球全体のあり方や、地球上の多様な生命のウェルビーイングに興味がある	地球や、地球上の多様な生命の存在を尊重する意義を理解している	地球全体のあり方や、あらゆる生命のウェルビーイングを尊重しながら、自分ができることを発生し、協働的に行動することができる

表2 「ウェルビーイング・コンピテンシーマトリクス (NTT-KIT 2024 年版)」



「ウェルビーイング・コンピテンシー マトリクス」

日本電信電話株式会社 (NTT) 社会情報研究所 Well-being研究プロジェクト / 金沢工業大学 (KIT) 教職課程 平 真由子氏

『わたしたちのウェルビーイングカード (NTT出版社)』

二つの地域共創プロジェクト

共創ウェルビーイング部・・・「のくにラボ」をまちなかに創設。
世代を超えたキャリアを育む

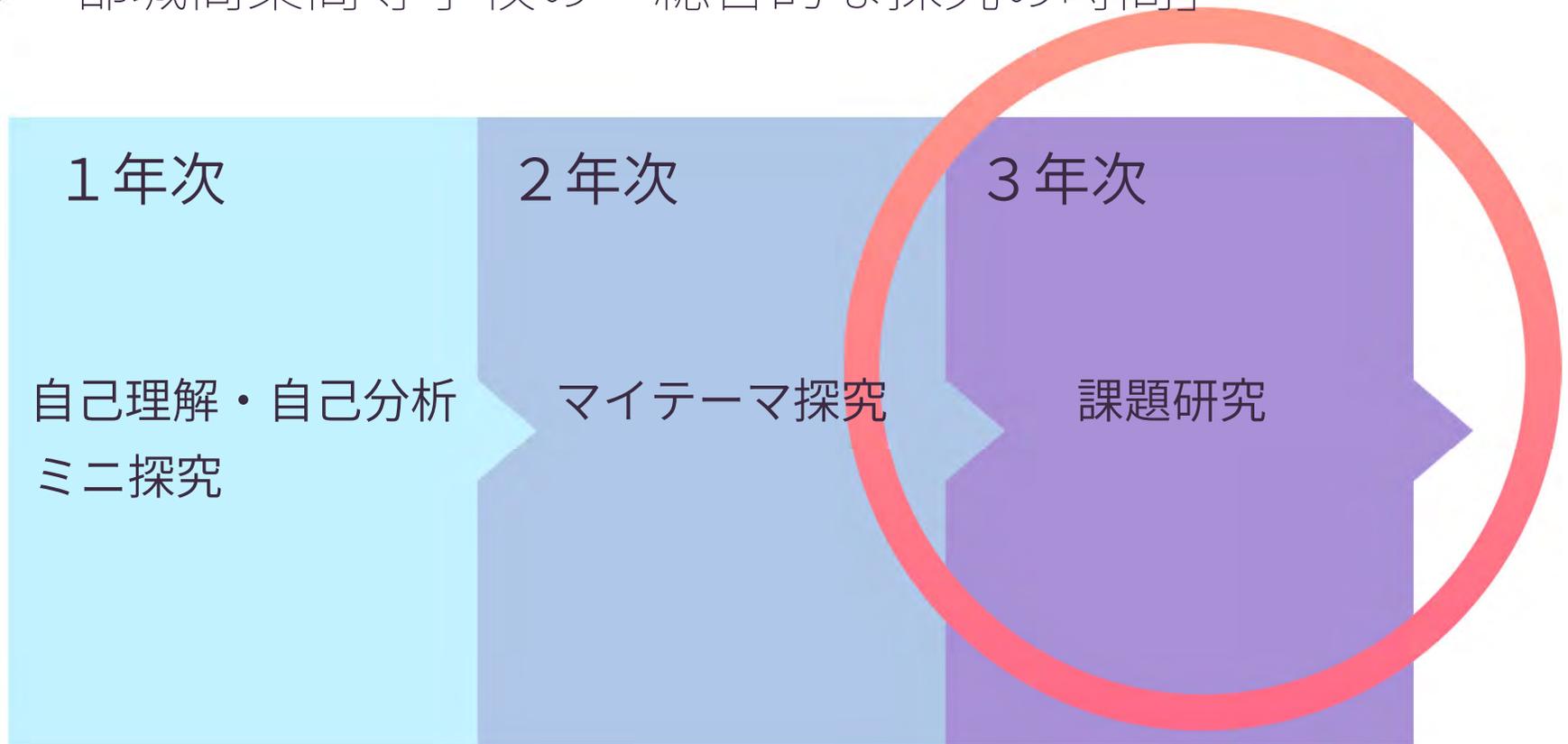
▶ **課題研究「紙漉き文化再生プロジェクト」**・・・持続可能な環境教育



二つのプロジェクトを通して連携した企業人や有識者が
全校生徒対象の探究活動や対話型ワークショップに参加
。
全生徒たちのキャリア形成を支援。



都城商業高等学校の「総合的な探究の時間」



和紙は環境にやさしく、持続可能



原料の木を枯らすことなく、
毎年収穫が可能！

天然素材100%でできている

一度使用した和紙も、
水で戻せば再び「原料」に！



和紙に産業廃棄物を漉き込むことが可能



芋焼酎をつくる過程で出る、
芋の根や皮、繊維を和紙の原料に！





焼酎芋の副産物を漉き込んだ「都城リジェネ和紙」
ラベルのオリジナル焼酎

(柳田酒造合名会社)



都城リジェネ和紙

都城リジェネ和紙



REcycle (再生)

一度使った和紙を何度も「漉き返し」で使う

REmake (再創造)

産業廃棄物も和紙の原料として、新たな価値を持つ品物として世の中にリリース！

REgenerate (再構築)

技術を受け継いできた先人たちをリスペクト！
「環境を大切にすること」も伝える和紙へ



スターバックスコーヒー日本の店舗から出たコーヒー殻を漉き込んだ和紙



宮崎ブルーゲンピリア空港で咲き終えた花を和紙に再生



花屋から廃棄される花を押し花にして和紙に



県外の和紙工場の端紙を和紙の模様



地域の和紙製のお祭りのポスターを漉き返して、事業所のポップに。



宮城県立郡城商業高等学校 presents

和紙あかReナイト

2024.12.20 FRI 17:00～19:00 まちなか広場

この日は、イルミネーションを少しだけ「ライトオフ」します
映えスポットは私たちがちゃんと準備します！

いつもとは ちょっとちがう スローな夜の
・・・だれと いっしょに 過ぎしちゃおう？

Re

紙：学校、地域事業所から回収したものを再利用
ロウソク芯：学校の印刷室の古紙等を再利用
和紙の原料は、焼酎の造り過程で出る粕から、部員3年生の思い出のプリント等を混ぜ込んで造ったもの

主催 宮城県立郡城商業高等学校「紙漉き文化再生プロジェクト」
共創カメリアーズ部「あかReプロジェクト」 郡城エシカルコンシェルジュ

協力 郡城市立図書館 郡城市地域プロジェクトマネージャー 郡城市役所環境政策課
一般社団法人ピカピカワークス 合同会社YOYE 郡中製菓名産会社
QUITTERIE PEM 大蔵山製菓 合同会社MINO Caramel studio
Cuma Coffee Roaster (仙台中村ビル) 浄土堂米穀油製菓 株式会社AIC(宮城支社)
杉本 祥也(写真撮影)

お問い合わせ先 郡城商業 (仙台・北沢) 0985-22-1758



郡城商業高校「紙漉き文化再生プロジェクト」×「ファッションラボ」コラボワークショップ

和紙に花を咲かせよう

2025年1月25日(土) 10:00-16:00
(12:00-13:30は昼休み)

対象
どなたでも
(未成年は保護者同伴)

シルクスクリーンとは？

トートバッグやTシャツに用いられる
身近な印刷方法です。

色と花の型紙をえらんで、シルクスクリーンで和紙にプリントしてみよう！郡城商業高校「紙漉き文化再生プロジェクト」の高校生が製作した和紙を使用します。

時間 10:00-16:00 (12:00-13:30は昼休み)
※材料が無くなり次第終了します。

会場 ファッションラボ (郡城市立図書館2F)

対象 どなたでも (未成年は保護者同伴)

申込方法 当日会場にて随時受付
※15分程度で終わる内容です。

連絡先 郡城市立図書館 電話：0986-22-0239
HP <http://mail.mall.info/library.html> Instagram [@r_miyakononojo](https://www.instagram.com/r_miyakononojo)

●専用のインクを使用します。白衣をご用意しておりますが、念のため汚れてもよい、作業しやすい服装でお越しください。



イベント実施後も手漉き和紙を地域で「循環」させる 46

都城手漉き和紙が紡ぐ 七夕の願い



手漉き和紙 短冊 配布期間 【各限定50枚】
2025.6.21 (土) ~7.7 (月)

実施場所：宮崎ブルーゲンピリア空港 神社宮 都城市立図書館 都城商業高等学校
スターバックスコーヒーイオンモール都城駅前店 タマチャンショップ都城本店

期間中に配布する短冊は、宮崎県立都城商業高等学校「紙漉き文化再生プロジェクト」が、一枚一枚丁寧に手漉きした和紙で作っています。ぜひあなたの願いごとを短冊に込めてください。なお、短冊は、イベント実施後に木に戻して漉き直し、「リジューネ和紙短冊」として来年以降も繰り返し使います。

QRコード
Instagram
@RE_MKNJ_WASHI

—宮崎県立都城商業高等学校「紙漉き文化再生プロジェクト」—
かつて都城市で盛んなった手漉き和紙文化を現代に蘇らせ、「都城リジューネ和紙」文化として再構築する取組をしています！
お問い合わせ先 宮崎県立都城商業高等学校（担当：北郷）
電話 0986-22-1758
メール 191502_teacher@g.miyazaki-c.ed.jp



イベント実施後も手漉き和紙を地域で「循環」させる

「手漉き和紙ワークショップ」 これまでの参加者 500人超



都城ワシ和紙

二つの地域共創プロジェクト

共創ウェルビーイング部・・・「のくにラボ」をまちなかに創設。
世代を超えたキャリアを育む

課題研究「紙漉き文化再生プロジェクト」 齧齧持続可能な環境教育



二つのプロジェクトを通して連携した企業人や有識者が
全校生徒対象の探究活動や対話型ワークショップに参加。
全生徒たちのキャリア形成を支援。



探究活動を支援



大人も高校生も
同じフィールドで



高校生自身がゲストスピーカーとなって、
近隣の小・中学校へ



今後の展望

共創ウェルビーイング部

紙漉き文化再生プロジェクト

プロジェクトで培ったノウハウを、
あらゆる場面に展開・応用させていきたい

来年度より特別支援学校が本校敷地内に開校

→インクルーシブな教育環境を基盤に、
地域課題への探究活動を通じた「共創型」のキャリア教育を推進していきたい

共創ウェルビーイング部「のくにプロジェクト」



課題研究「紙漉き文化再生プロジェクト」



のくにラボ



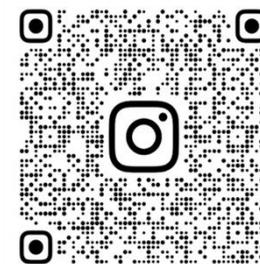
@NOKUNI_LAB



宮崎県立都城商業高等学校



都城リジェネ和紙



RE_HYUGA_WASHI